

令和7年度のごあいさつ

昨今の社会は複雑化、多様化する中、その変化のスピードはますます速まり、子どもたちを取り巻く未来の環境は予測困難となっています。そのような時代において、教育の果たす役割はより一層重要になります。奇しくも、今年度は、昭和100年であり、同時に戦後80年です。また、公教育の誕生から約150年、これまで大きくは変わらなかった学校教育が、タブレットの導入などを通して、教師主導だけの学びから生徒主導の学びへ、また、管理型から自治へ、強制から対話へといった教育の転換が図られています。

そして、子どもたちの持っている可能性を最大限に発揮できるように支援しています。

一方、本校は平成27年度に学校運営協議会を設置し、地域・保護者・学校が協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともに歩む学校づくり」に取り組んでいます。

その特色として、平成21年創設の「東中ファミリーサポートズ」を軸に、地域に根ざした活動を行っています。各サポート（スタディ・スマイル・ライブラリー・グリーン・カルチャー）と連携して、学校力のアップに繋がっています。

加えて、重点目標である「み・そ・あ・じ」（みだしなみ／そうじ／あいさつ／じかんを守る）や「無言清掃」の教育活動を実践し、子どもたちの学力向上や人間力向上に生かしています。特に「無言清掃」を通して、5つの心（感謝の心・気づく心・親切な心・正直な心・思いやる心）を育てています。

このように、本校は、教職員、保護者、地域がコミュニケーションを図り、互いのニーズに応えながら、子どもたちの豊かで健やかな成長について、高め合う雰囲気があります。時代によって、求める教育が変わるのは当然のことであり、教育の不易と流行を大切にしながら、組織的に全力で教育に向かう体制づくりができています。

さて、本校は、昭和22年に開校した創立78周年を迎える伝統ある学校です。昭和30年に、校舎を現在の場所に移転しました。また、これまで20,718人の生徒を輩出しています。今年度、通常学級18学級、特別支援学級4学級の計22学級で、全校で684名の生徒が在籍しています。

今年度、校訓『自治 勤勉 友愛』のもと、学校教育目標を「多様化の時代を生きる心身ともにたくましい生徒の育成」と掲げました。また、研究テーマを「自らの将来を切り拓く生徒の育成～生徒が自ら考え、学び、決定する授業・学級づくり～」として取り組んでまいります。

そして、今年度も子どもたちにとって「毎日通いたい学校」、保護者にとって「毎日通わせたい学校」、地域にとって「誇れる学校」、教職員にとって「働きがいがあり、自分の力を存分に発揮できる勤めたい学校」となるよう努めてまいります。保護者、地域の皆様には東中学校の教育活動へのあたたかい見守りとご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和7年4月1日

伊丹市立東中学校
校長 前田 徳三